



主催：コラボラキャンパスネットワーク 2023年11月16日(木)



講演 子どもの育ち、子どもとのつながり、 子どもの居場所をどう支える？



NPO法人ゆめ・まち・ねっと 渡部達也さん・美樹さん



「たっちゃん・みっきい」が九州に来る！！ どうしても企画したかった講演会でした。子育て支援や、居場所づくりの現場の方、子育て真っ最中の方、みんなで聴くことができました。必要とされていることを、見出して、動きながら考える。2人の温かいエネルギーに様々なヒントがありました。

「母性は利他のところに近い。父性は順番だから、子どもが母性に包まれたら、社会常識などを伝えていく感じかな？」「伝わる言葉かけは、“一度にひとつのこと・肯定的に・具体的に・視覚的に”」「他信が大事、大人が信じられる他者になろう」。深く、じんとする言葉をもらって、また、日々を過ごしていこう、と思えました。

主催：コラボラキャンパスネットワーク
2024年2月28日(水)



せんばひろみ
仙波大海先生の
～イギリスの冒険遊び場視察報告会～

「プレーパーク」を知っていますか？



仙波大海先生



1956年の都市公園法成立の時代から長いスパンで、日本の公園の有り様・遊具の変化などをみると、遊び環境やリスクの変遷がよくわかりました。

イギリスのハックニー区にあるプレーパークが発信する看板のコンセプトや、ステキな遊具の画像に、ワクワクするとともに、北九州市内のプレーパーク活動に大きな示唆や視点をもらいました！
楽しかったです！

北九州市立大学
地域共生教育センター (421Lab.)
特任教員
現在、福岡県内のプレーパークで
プレーリーダーとして活動しながら
大学院にてプレーパークに関する
研究を行っている。

TOPIC

2024年1月21日(日) 421Lab. 主催の「地域活動発表会」が開催されました！

421Lab.に所属する全20の学生プロジェクトが、活動発表を行いました。たくさんの興味深い発表がありましたが、その中で「わくわくキッズPJ」の皆さんが、見事、三冠を受賞しました！！

「わくわくキッズPJ」のリーダー 奥 日向さん(文学部4月から3年生)にインタビューしました！

Q1 一年の活動をふりかえって、感想を教えてください。

◆大変充実した1年間でした。昨年度から実施しているイベントに加え、ハロウィンイベントやよみうりキッズフェスタなど、新しいイベントにも参加しました。過密スケジュールの中でも、メンバー全員が協力し合ったおかげで、たくさんの子どもたちの笑顔を見ることができました。

Q2 発表するときに、どんなことを工夫しましたか？

◆ポスターセッション部門では、触って楽しい仕掛けを設置することで、見る人の興味を引くものになりました。発表部門では、ニュース番組風に1年の活動を紹介するスライドを作成し、キャスターになりきって台本を読みました。一緒に準備をしたメンバー、サポートしていただいたラボの先生方、イベントの開催に協力してくださいました企業・団体の皆様のおかげで、充実した1年間の活動を終えることができました。地域活動発表会での3冠受賞も本当にありがとうございました。

Q3 来年度のコラボラとの関わりで、やりたいことはありますか？

◆今までは屋内での遊びを想定した企画を考えていましたが、来年度は自然と触れ合えるような外遊びを積極的に行いたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。



おめでとうございます！

発表部門優秀賞
ポスターセッション部門 最優秀賞
ポスターセッション部門 企業賞

北九州市立大学
地域共生教育センター

421Lab.

(通称：ヨン・ニー・イチ・ラボ)



コラボな人 Part2

公立大学法人 北九州市立大学
事務局 地域・学生課 地域貢献係長

かな い はや と
金井 逸人さん



金井さん作
自画像

コラボ活動を支えてくれる心強い存在！
北九州市立大学のOBでもある金井さんにインタビュー！

Q1 在学中はどんな思い出がありますか？
(サークル活動や天学祭、地域活動など、学生時代の印象的だったことは？ 地元出身？)

◆経済的に裕福ではなく「自宅から通学できる国公立」というネガティブな縛りの中から、生来のポジティブな思考回路で本学を選びました。本分である学業は何とか卒業できる程度で、決して褒められた学生ではありませんでしたが、当時の情熱を全て注いだ課外活動とそれを通じた上下左右の人間関係の中、今の私の90%は本学在学中に培われたようなものだ、心の底からの感謝と自身の選択が間違っていなかったことを確信するところです。

今は休会していますが「新聞会」という、大学祭実行委員会等と同じく学友会費を原資として活動する全学団体に活動していました。いつか自伝でも書くことがあれば、ここに大きなボリュームを割くことになるでしょうね。



金井 逸人さん

2003年北九州市立大学文学部比較文化学科卒。
タウン誌編集、市立図書館やスタジアムの市有施設の管理者等を経て、2020年、大学事務局に転職。昭和な呑みニケーションが好き。

Q2 現在の学生さんと、自分たちの時代との違いはどこなどころ？

◆デジタル・ネイティブであるか否か、に隔世の感があります。世代的に、どこにその境界線があるのか明確な答えは持っていませんが、もはや全く別の人種とさえ思っています。幸運にも今、こうして大学というフィールドを職場とし、少なからず学生たちと関わる中、「旧人類」の知見を多様な考え方の一つとして伝えていきたいです。

Q3 地域に根ざし、地域貢献を校是とする北九州市立大学。学生さんとコラボ団体の交流に期待することをおしえてください。

◆学生生活において、地域貢献や多世代交流をしなくても困ることはありません。しかし、人生そのものを豊かに、瑞々しいものにするためには、多様性を認め合い、共助・共生する心の在り方が不可欠です。その観点より本学がコラボ事業を長きにわたり推進していることは、先人たちの慧眼に他ならず、今、担当者としてその一端を担わせていただいていることに誇りを持っています。コラボ全構成員に敬意を表すると共に、学生たちには「とにかく飛び込んでおいで」と教えてあげたいです。

コラボキャンパスネットワークとは？

「北九州市立大学」/「NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee」/「高齢社会をよくする北九州女性の会」/「NPO法人GGPジェンダー・地球市民企画」/「NPO法人スキルアップサービス」/「Say! 輪 (セイリング) (セイリング)の計6団体が取り組む、多世代交流・地域づくりに関する協働事業をコーディネートするネットワーク団体です。普段なかなか接することの少ない学生と地域の方々が、北九州市立大学キャンパスを拠点に交流できる活動やイベントを展開中です。

